

視線入力とは？

専用の機器を使って、パソコンのマウスを視線で操作する仕組みです。

注視（見つめること）でクリックできます。また、意思の表出が困難とされていた重度障害児であっても、ディスプレイ上に現れる視線の動きから内面を推し量ることができます。手で操作することが難しい人たちの学習の幅や生活の世界が広がることが期待できます。

視線入力のできることは？

- ・スクリーンキーボードを表示して文字をタイプする。（文章作成・メールなど）
- ・VOCA アプリを利用して音声で意思を表出・伝達する。
- ・自分で何かができる（選択・決定）。
- ・目が使えていることやどんなことに興味があるかが、周囲の人にわかる。
- ・ゲームを楽しむ、動画を見る、ネットサーフィンなどの余暇活用する。 など

視線入力支援に必要な環境は？

（現在 早島支援学校で所有しているものを中心に紹介します）



視線入力装置

「Tobii Eye Tracker 4C」

パソコン及びディスプレイ

「Microsoft Windows 10搭載の
ノートパソコン」

固定具（PCやディスプレイを固定するアーム）

例）パソコン
アシスタント ミニ
ユニバーサルアーム
など

視線ソフト

Miyasuku EyeCon LTZ
Miyasuku EyeCon Mouse など

視線入力 学習ソフト

「EyeNot 2D/3D」（島根大学）
※ネットで無料公開されている。
「Look to Learn」（Smartbox）